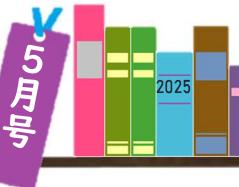


図書館だより



✿✿✿ 犬と一緒に♪

「世界のあらゆる場所で、いろいろな役割をこなしていて、人間の生活に深いかかわりをもっている。」(『総合百科事典ポプラディア 第三版 2』「イヌ」より) 犬は大昔から人間のよき相棒として暮らしてきました。はじめて飼われた時期は化石からも正確には分からぬそうです。今月は犬と人間を描いた本を紹介します。

参考:『総合百科事典ポプラディア 第三版 2』 秋山仁ほか/監修 ポプラ社



『少年と犬』

馳星周/著 文藝春秋 913 は

東日本大震災後に迷い犬となり、南を目指して日本縦断の旅を続ける多聞。旅の途中で出会った人々の人生に変化をもたらしながらも、多聞はとどまることなく南を向いて旅を続けます。多聞の旅の目的とは?

多聞と6人の交流を描いた連作短編集。

『犬が来る病院

命に向き合う子どもたちが教えてくれたこと』

大塚敦子/著 角川書店 493 お

日本で初めて小児病棟にセラピー犬の訪問を受け入れた聖路加国際病院。約3年半にわたる取材の中で、著者が出会った四人の子どもたちの生死を通して描く感動の記録。

こちらもおすすめ



『犬部! 北里大学獣医学部』

片野ゆか/著
ポプラ社
645 か

#サークル活動 #保護犬

『犬がいた季節』

伊吹有喜/著
双葉社
913 い

#高校3年生 #昭和から平成へ

『こいぬがうまれるよ』

ジョアンナ・コール/文
ジェローム・ウェクスラー/写真
つばいいくみ/訳 福音館書店 645 こ

#子犬 #動物の誕生

分類のはなし

図書館の本の背表紙にはラベルが必ずついています。ラベルには数字や記号が書かれていますが、この数字や記号にはきちんと意味があります。

図書館の本は「日本十進分類法(NDC)」という規則によって、内容別に分類記号が付けられており、その順に整理されて並べられます。この分類記号と、著者や巻号などの記号を合わせたものが「請求記号」で、館内のどこにその本が置かれているかを示しています。いってみれば「本の住所」ですね。



お知らせ

●5月のコーナー紹介



「運動会!」

足が速くなる方法の本など

「中学生に読んでほしい本」

読み応えのある本など

●サテライト図書館「子どもの日」

本に挟んである葉に記名してポストへ入れると貸出できます。

●返却期限を忘れていませんか?

次の人が待っています。

開館カレンダー ★開館日

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
★	★	★	閉	★		
12	13	14	15	16	17	18
★	★	★	★	★		
19	20	21	22	23	24	25
★	★	★	★	★		
26	27	28	29	30	31	
★	★	★	★	★		

★5月 8日(木)は司書が研修で不在のため閉館となります。